

駒澤大學 禪研究所年報

第 11 号

故 鈴木格禪名譽教授・禪研究所元所長 追悼号

目 次

鈴木格禪元所長の遷化を悼む	田上 太秀 (1)
【遺稿・再録】道元禪の世界—わたしの遍歴と邂逅—	鈴木 格禪 (3)
【公開講演会】「禪の心理学」	恩田 彰 (33)
『正法眼藏聞書抄』における『眼藏』理解について一本覚法門への批判点をめぐって—その俗諦常住の理解度について—	
(Ⅲ)『盧談』20〔二諦義〕における俗諦常住の考察—(三)	山内 舜雄 (57)
胡適『中国における禪—その歴史と方法論—』	翻訳者: 小川隆 (81)
『石華老人開戒口訣』の紹介	本多 寛尚 (113)
明峰素哲と松岸旨淵の伝記資料—『光禪開山老和尚行業記』と『光禪寺二代松岸禪師伝』の訓註—	佐藤 秀孝 (143)
龍谷大学図書館蔵『大徳寺夜話』をめぐって (二)	
—資料編 (続)—	飯塚 大展 (181)
駒澤大学禪研究所現況	(219)
駒澤大学禪研究所規定	(222)
The Dissemination of Zen in Europe in Connection with the accompanying Literature	Heinrich Wallnöfer (274)

2000年3月

駒澤大學禪研究所

二〇〇〇年三月

駒澤大學禪研究所年報

第十一號

駒澤大學禪研究所

ANNUAL REPORT
OF
THE ZEN INSTITUTE

No. 11, March 2000

Memorial Volume of Late Prof. Kakuzen Suzuki

Contents

Mourning the Passing Away of Institute's Former Head Kakuzen Suzuki Taishu Tagami, Professor, Komazawa University, Head of the Zen Institute(1)
Memorial Issue:Reality in the World of Dogen Zen:My Pilgrimage and Personal Encounters Kakuzen Suzuki, Professor Emeritus, Komazawa University(3)
Public Lecture:Zen and Psychology Akira Onda, Professor Emeritus, Toyo University(33)
The Understanding of <i>genzō</i> ("eye-store") in the <i>Shōbōgenzō kikigaki-shō</i> (part 3) Shun'yu Yamanouchi, Professor Emeritus, Komazawa University(57)
Hu Shih's Chán(zen)Buddhism in China:Its History and Method Takashi Ogawa, Translator, Associate Professor, Komazawa University(81)
An Introduction to the Sekka rojin Kaikaikuketsu Kansho Honda, Doctoral Candidate at Komazawa University(113)
A Study on the Biographies of Meihō Sotetsu and Shōgan Shien Shūkō Satō, Professor, Komazawa University(143)
Concerning Ryukoku University Library's Manuscript of <i>Daitokuji-yawa</i> . Hiromori Iizuka, Lecturer, Komazawa University(181)
The Current Situation of the Zen Institute, Komazawa University(219)
The Regulations of the Zen Institute, Komazawa University(222)
The Dissemination of Zen in Europe in Connection with the accompanying Literature Heinrich Wallnöfer, Research Fellow of the Zen Institute(274)

**ANNUAL REPORT
OF
THE ZEN INSTITUTE**

No.11 March 2000

**Edited by
ZEN INSTITUTE
KOMAZAWA UNIVERSITY
SETAGAYA-KU, TOKYO**

▼『駒澤大學禪研究所年報』第十一号をお届けします。幹事の石井清純先生が米国へ在外研究に行かれる関係で、編集係の佐藤秀孝先生がその任に転じられ、その結果編集係の仕事がわたくしに回つてきました。わたしは、昨年度より所員になつたばかりで、雑誌の編集業務にも不慣れでしたので、発行が大幅に遅れてしましました。執筆いたいた先生方、所員の先生方には大変ご迷惑をおかけしました。

▼図らずも本号は、元所長の鈴木格禪先生の追悼号となつてしましました。初めてお目にかかる以来、鈴木先生の大好きな人柄に育まってきたと常日頃実感しているわたしとしてしまいました。先生の退職の折の最終講義も、仏教論文を、所員の小川隆先生の邦訳で掲載出来たことも、編集係としては喜ばしい限りです。

▼その他にも、本学名譽教授の山内舜雄先生、所員の佐藤秀孝先生、飯塚大展先生、また大学院研究生の本多寛尚氏より、力作をご寄稿いただきました。謹んで御礼申し上げます。▼新世紀を目前にし、駒澤大學禪研究所の活動が世界に向いて今後一段と活発化し、また本誌が一層の学的の賑わいを醸し出すことを祈念したいと思います。
(編集係 金沢篤)

学部の学会係としてお世話をさせていただきましたし、懐かしい思い出です。所長の田上太秀先生よりは追悼文を寄せていただきました。さらに鈴木先生を偲ぶ縁にと、国際基督教大学アジア研究所主催の先生の御講演「道元禪の世界」わたしの履歴と邂逅、「転載させていたくことが出来ました。

▼また本号には、平成十一年度の禪研究所主宰の公開講演学会の記録を、掲載させていただきました。東洋大、学名譽教授恩田彰先生による「禪と心理学」がそれですが、恩田先生には、心より御礼申し上げます。

▼その他の、定例研究会で「ヨーロッパにおける禪の動向」を発表していただいた禅研究所在外研究员のハインリッヒ・ワールネット博士先生の英文原稿をそのまま、掲載することが出来ました。研究会その他でご尽力いただいた、所員の佐々木雄二先生には、改めて御礼を申し上げます。また、ワールネット博士先生がウイーン在住ということで、先生のご論文の校正は、編集係として、わたしがいつさいを担当させていただけました。頂戴した原稿に極力沿うように務めましたが、その体裁等に不備不具合があつたとすれば、それは偏に編集

駒澤大學禪研究所年報 第十一號

二〇〇〇年三月三十一日 印刷

発行者 駒澤大學禪研究所

〒一五四一〇〇六二
東京都世田谷区駒沢二丁目二三番一号

電話 〇三(三二六四)九三〇四(所長室)

代表者 田 上 太 秀

印刷所 中 台 整 版

東京都千代田区飯田橋二一一一二
電話 〇三(三二六四)八九六六